



ちゃぼひば

〒334-0059 埼玉県川口市大字安行1145 TEL: 048-299-0018

～広報誌 ちゃぼひばの由来～

グリーンビレッジ安行のシンボルでもあるチャボヒバの木。この木のように、幾多の事にも挑戦して大きく成長していけるよう願いを込めて名付けました。



～ 施設方針 ～

“グリーンビレッジ安行”は明るく暖かい雰囲気の中でリラックスできる環境を提供いたします。

理 念

人間の尊厳
正義・博愛・献身・科学的思考

- 1.施設を明るく家庭的な雰囲気にはち、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。
- 2.短期入所・通所リハビリテーションの機能を生かし、在宅ケア支援を積極的に行います。
- 3.介護・医療・福祉に係わるすべての方々との連携を密にし、地域の皆様に愛し愛される開かれた施設を目指します。

Contents

○ふれあい安行祭り特集	2
○失語症コミュニケーション勉強会	3
○震災訓練	3
○通所トイレ増設	3
○青少年ボランティア	3
○安全運転講習会	4
○新しい医師のご紹介	4
○リハビリテーション科コラム	4

「ちゃぼひば」VOL.7
 平成26年10月発行
 発行責任者：療養部長 小島 明美
 編集・制作：広報委員会
 委員長：堀田 智博
 委員：平野 真子・工藤 修・佃 市子・野平 章浩
 平山 智経・佐藤 優里奈・細川 貴英・深美 夕紀子



第10回ふれあい安行祭り2014 ～秋祭りだ ワッショイ～



ふれあい安行祭り～秋祭りだワッショイ～が9月21日（日）に盛大に開催されました。まずはじめに、ご参加いただきましたご利用者・ご家族、ご協力いただきましたボランティア、協賛企業の皆様方に厚く御礼を申し上げます。今年は例年より1カ月遅い開催となり、夕方にかけての冷え込みを心配し、施設内でのイベント実施とさせていただきます。お陰様で皆様のご理解とご協力で、ご利用者が体調を崩されることなく、無事にお祭りを終了することが出来、ほっとしております。

屋台は例年通り駐車場内に「お好み焼き・焼きそば」「飲み物」「マッシュポテト・きゅうりの浅漬け」「綿菓子」「パフェ」「ソフトクリーム」「枝豆・ゲーム」等が並び、どの屋台も大盛況でした。また、イベント会場では音楽クラブの発表、盆踊り、職員と浦和大学の学生によるソーラン節、葉月会さんによる和太鼓が繰り広げられ、皆さんの笑顔と温かい拍手に、改めて頑張ってきて良かったと思えました。来年もご利用者の皆様に楽しんでいただけるお祭りを開催できるよう、職員一同頑張っております。誠にありがとうございました。

ふれあい安行祭り実行委員長

2階介護員 町田尚斗



音楽クラブの展示



大盛況の各屋台



ソーラン節



1部(3階の方)		2部(1・2階・通所の方)	
13:00	おみこし	13:00	おみこし
15:00	受付開始	15:00	受付開始
15:30	屋台開始	16:30	屋台開始
16:20	開祭式	17:40	開祭式
16:30	音楽クラブ発表	17:45	ソーラン節
16:45	盆踊り	17:55	盆踊り
17:05	ソーラン節	18:10	音楽クラブ発表
17:15	閉祭式	18:25	和太鼓
		18:45	閉祭式



葉月会「和太鼓」



職員とご利用者の共同制作



屋台を楽しまれるご利用者

失語症コミュニケーション勉強会を行いました

言語聴覚士 星 友基

失語症は、大脳に存在する言語中枢の損傷によって起こる言語障害です。失語症になると「自分の言いたいことが言えない」「相手の言葉を理解できない」「文字や文章が読めない」「書けない」など言葉に関わる全ての作業が困難になります。失語症の人と上手にコミュニケーションをするためには、まず、その方の想いを知りたいという真摯な心を持つことが大切です。そして、失語症の正しい知識に基づいたコミュニケーション方法が必要となってきます。

そこで今回、全職員対象に「失語症の理解とコミュニケーション」の講義をさせていただきました。基本的な失語症の知識として「失語症の原因」「特徴」「タイプ分類」などの説明から始め、話し言葉の工夫である「はい」「いいえ」で答えられる質問、表情や身ぶりを添えて言葉を伝える等、実践的な練習を交えて行いました。

講義を通じて、施設のスタッフが失語症の正しい理解を深め、社会参加へのよき支援者となれるように努力していきたいと思えます。



防災委員 須田 洋介

震災訓練を行いました

震度6強の地震発生を想定した震災訓練を9月10日（水）に実施いたしました。今回は地震発生時の初動訓練、情報伝達訓練、災害対策本部設置運営訓練、避難誘導訓練を目的としました。

当日は各部署災害発生時対応のアクションカードに沿って、災害時に必要となる動きの確認を行いながら、落ち着いて行動することが出来ました。また、避難誘導の場面では、エレベーターが停止した時のことを想定し、職員が車椅子のご利用者役となり、階段での避難訓練を行いました。実際に職員がご利用者の体験をすることで、「こう持った方が安定感が出るのではないかな?」「こうした方が不安感を抱かせないで避難できるのではないかな?」など様々な意見・課題が見つかりました。

今後もこのような訓練を定期的な実施し、防災意識を高めていくと共に、あらゆる場面を想定した避難誘導方法の確立を目指していきます。



♣ 通所トイレ増設 ♣

かねてより通所ご利用者からトイレを増やしてほしいという要望が多数寄せられておりましたが、この度、2カ所のトイレ増設工事を実施いたしました。工事中、ご利用者にはご不便をおかけいたしました。9月12日（金）に工事が完了し、トイレが総数5ヶ所となりご利用頂いております。また、決められたスペースでの増設であった為、ご利用者によっては使いづらいこともあるかとは思いますがご容赦ください。今後ご意見やご指摘を頂戴し、環境整備に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



青少年ボランティア

青少年ボランティアとは、川口市・川口市社会福祉協議会が協働で行っている事業の1つで、夏休みに中学生以上を対象としたボランティア活動です。毎年施設ではボランティアの受入れをしており、今年も7月～8月に中学1～3年生の生徒さん4名の受入れをしました。受入れフロアは、1F・2F・通所でした。ご利用者とお話しをしたり、お茶の準備から入浴後のご利用者の髪をドライヤーで乾かしたりと色々なお仕事を体験していただきました。ご利用者からは孫を見るような暖かいまなざしを向けられていました。



また、体験した生徒さんから“とても楽しかったです。高校生になったら、またボランティアに来たいです”と笑顔で話されていたのが印象的でした。

「安全運転講習会」



全職員を対象に武南警察署のご協力のもと、「安全運転講習会」を行いました。近年、交通事故の原因は、**漫然運転・安全不確認**等が多く、また「来ないだろう」・「いないだろう」等の「**だろう運転**」も多いと言います。意識して運転し、車間距離をとり、安全運転を心掛けるようにご指導いただきました。ご利用者を安全に送迎出来るよう、職員一同心掛けていきます。

また、同時にTMG本部員沼顧問（元埼玉県警参事官）による「**振込詐欺被害防止対策**」も行われ、日頃から留守番電話機能を設定しておくことや**不審な電話があった時は、まず、家族や警察に相談することが被害防止に有効とされています**。一人で判断しないよう、日頃から**家族でコミュニケーション**をとっておくことが大事だそうです。とても勉強になる講習会となりました。

♪新しい医師のご紹介♪

自己紹介

職 種 : 医師（常勤）
氏 名 : 高瀬 通汪
年 齢 : 67歳
住 所 : 東京都在住
出身大学 : 東京医科大学（S47年卒）



この度、当TMGグループの人事により新座志木中央総合病院から9月29日付で転勤してまいりました、医師の高瀬通汪（たかせ みちおう）と申します。専門は泌尿器科です。趣味は車をいじること。前の病院では市の介護認定審査会の認定医としての経験はありますが、老人保健施設での勤務は初めてですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

リハビリ科コラム

今回はロコモティブシンドロームについて紹介したいと思います。

《ロコモティブシンドロームとは》

日本整形外科学会が提唱した用語で、平たく言うと「加齢により足腰が弱体化し、放っておくと寝たきりや要介護になってしまう」という状態です。

《ロコモティブシンドロームの判断》

下記の7項目の中で1つでも当てはまるものがロコモと判断されます。

- ①片足立ちで靴下が履けない。
- ②家の中でつまづいたり滑ったりする。
- ③階段を昇るのに手すりが必要である。
- ④横断歩道を青信号で渡りきれない。
- ⑤15分くらい続けて歩けない。
- ⑥2kgくらいの物を持って歩くことが困難。
- ⑦掃除機や布団の上げ下ろしなどやや重い家事が困難。

《ロコモティブシンドロームの予防》

まずは運動習慣を日常生活内に取り入れることが大事です。また、ロコモティブシンドロームは十分に歩ける人と、良く歩けない人ではトレーニングの実施方法が異なります。そのため、個々の状態に合わせた適切な運動処方の調整が必要です。実施する場合は専門家と相談して運動を処方したほうが効果的です。

今回は日本整形外科学会が公認している「片足立ち」の訓練方法について紹介したいと思います。

姿勢をまっすぐにして
行うようにしましょう。

必ずつかまるものがある
場所で行います。

片足を軽く上げます。
左右1分間ずつ、1日
3回行います。



リハビリテーション科 梅岡輝正

アクセス方法



《 施設送迎バス 》

東川口駅 発 ~ GV安行 行

東川口駅	戸塚安行駅	GV安行
10:45	10:55	11:00
15:30	15:40	15:50

《東川口駅停留位置》

南口出口

《戸塚安行駅停留位置》

出入口3番



ご意見・ご感想を
お寄せ下さい！

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。頂戴したご意見等は、今後の誌面に役立たせて頂きます。皆様の声を広報局のメールアドレス g_angyo18@tmg.or.jp までお届けください！